



あとから
じわじわ
効いてくる

illustrator ショートカット編

For mac user

#05-1

今回は
「オブジェクトの拡大縮小」
について



拡大・縮小

[エス]

“scale”のsです。



オブジェクトやテキストを拡大・縮小する

リターン を押してメニュー画面に

数値を入力して使用する

ことがほとんどかと思えます。

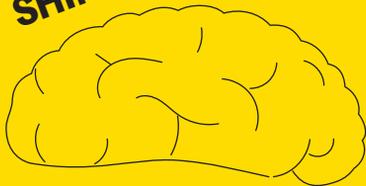


拡大・縮小

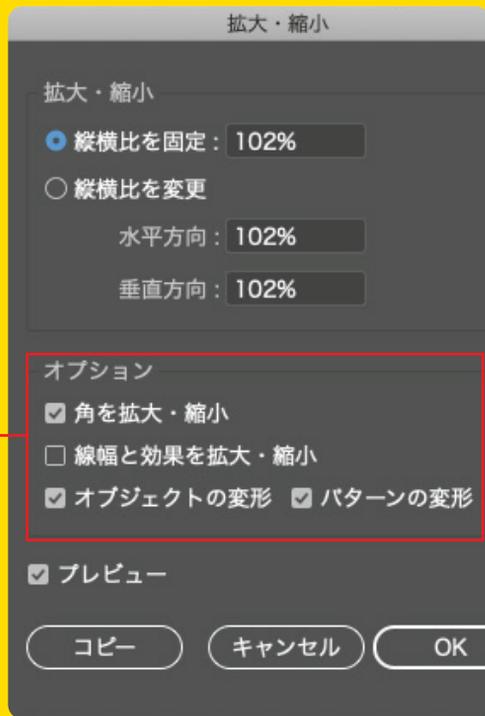
特に気にする箇所はここ

- ・線幅も一緒に大きくしたい
 - ・パターンの大きさは変えない
- などの細かい設定をして
実行させます。

SHIPPAI



◀ 線幅にチェックを入れずに
拡大してしまった図

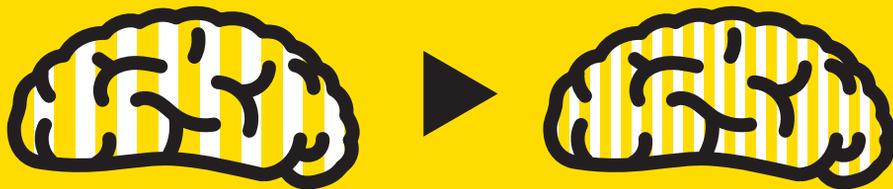


拡大・縮小

パターンにだけチェックを入れれば
パターンのみ拡大・縮小します。

オプション

- 角を拡大・縮小
- 線幅と効果を拡大・縮小
- オブジェクトの変形 パターンの変形



拡大・縮小

選択ツール(黒矢印のツール)で、
マウスを使って手動で拡大・縮小したり、
移動や回転をするときも



オプション

- 角を拡大・縮小
- 線幅と効果を拡大・縮小
- オブジェクトの変形 パターンの変形

内のチェックが反映されます。

拡大・縮小

なので線を使っていたり
パターンの入ったオブジェクトを
手動でいじる際は事前に、何も選択していない状態で

S

リターン

でメニュー画面を確認

するクセをつけておくといいでしょう。

SHIPPAI



◀パターンが一緒に
回転しなかった図

拡大・縮小

もちろん「移動」も「回転」も

リターン を押せば

同じようなメニュー画面が出てきますが、

個人的に線幅とパターンが

一度に確認できる「拡大・縮小」が

いちばん使い勝手が良いかなと思っています。

「移動」のメニュー▶

オプション

オブジェクトの変形 パターンの変形

「回転」のメニュー▶

オプション : オブジェクトの変形 パターンの変形

「パターン」のチェックはあるけど「線幅」のチェックがない

**拡大・縮小のはなしは
まだちょっと続きます。
次の回では拡大縮小に役立つ
「魔法のような計算式」を
紹介します。**

#5-2につづく